日 本 家 庭 科 教 育 学 会
第 ５６ 回 大 会 プ ロ グ ラ ム

期日：2013年6月29日（土）～6月30日（日）

会場：弘前大学教育学部

〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地
http://www.hirosaki-u.ac.jp/
大会事務局：安川あけみ（大会実行委員長；弘前大学）
〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地
弘前大学教育学部家政教育講座
Tel＆Fax：0172-39-3439
E-mail：kateika@cc.hirosaki-u.ac.jp

日 程

<table>
<tr><th colspan="5">６月２９日（土）</th><th colspan="5">６月３０日（日）</th></tr>
<tr><td>8:30～</td><td colspan="4">受　付
（データインストール６月 29 日分：各発表会場）</td><td>8:30～</td><td colspan="4">受　付
（データインストール６月 30 日分：各発表会場）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">9:00
～11:40</td><td colspan="4">口頭発表</td><td rowspan="4">9:00
～11:20</td><td colspan="4">口頭発表</td></tr>
<tr><td>第1会場</td><td>第2会場</td><td>第3会場</td><td>第4会場</td><td>第1会場</td><td>第2会場</td><td>第3会場</td><td>第4会場</td></tr>
<tr><td>1階
大教室</td><td>2階
大教室</td><td>203
講義室</td><td>202
講義室</td><td>1階
大教室</td><td>2階
大教室</td><td>203
講義室</td><td>202
講義室</td></tr>
<tr><td>A1-1
～A1-8</td><td>A2-1
～A2-8</td><td>A3-1
～A3-7</td><td>A4-1
～A4-7</td><td>B1-1
～B1-7</td><td>B2-1
～B2-7</td><td>B3-1
～B3-5</td><td>B4-1
～B4-6</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11:40
～12:10</td><td colspan="4">ポスター発表</td><td rowspan="2">11:20
～11:50</td><td colspan="4">ポスター発表</td></tr>
<tr><td colspan="4">奇数番号
（1階中教室）</td><td colspan="4">偶数番号
（1階中教室）</td></tr>
<tr><td>12:10
～13:00</td><td colspan="4">昼　食</td><td>11:50
～13:00</td><td colspan="4">昼　食
新旧理事会（302 講義室）</td></tr>
<tr><td>13:00
～14:00</td><td colspan="4">総　会
（2階大教室）</td><td>13:10
～14：30</td><td colspan="4">ラウンドテーブル「子どもの学びが深まる広がる家庭科の授業づくり」
（1 階大教室、203、202）</td></tr>
<tr><td>14:05
～14:55</td><td colspan="4">課題研究中間報告
（2階大教室）</td><td colspan="5" rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>15:00
～17:15</td><td colspan="4">講演・シンポジウム
「東日本大震災と家庭科教育」
（2階大教室）</td></tr>
<tr><td>17:30
～19:30</td><td colspan="4">懇親会
（会場：学生食堂2階）</td></tr>
</table>

＊６月２８日（金）　15：00～18：00　大会実行委員会（301 講義室）
15：00～16：30　理事会（302 講義室）
17：00～19：00　地区会代表者会議（302 講義室）

目　次

研究発表
　口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

課題研究中間報告・・・・・・・・・・・・・・・11

講演・シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・12

ラウンドテーブル・・・・・・・・・・・・・・・13

懇親会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・14

お知らせ
　大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・15
　託児室について・・・・・・・・・・・・・・・15
　宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・15

研究発表をされる方への連絡事項
　口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・16
　ポスター研究発表・・・・・・・・・・・・・・17

弘前大学キャンパスマップ・・・・・・・・・・18

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

交通アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・20

研 究 発 表

【口頭発表】（発表番号のＡは第１日目、Ｂは第２日目）

【6 月 29 日】第１会場（１階大教室）

【午前 9:00～10:20】座長：福井　典代

A1-1	家庭科学習による学びを可視化する単元開発と授業の分析－小学校５年生「できるようになったよすごろく」作りからの考察－	お茶の水女子大学附属小学校 横浜国立大学	○岡部　雅子 堀内　かおる
A1-2	中学生の住生活に関する学習要求	静岡大学教育学部 三重大学教育学部 岐阜大学教育学部 山梨大学大学院教育学研究科 愛知教育大学教育学部 愛知教育大学教育学部	○小川　裕子 中島　喜代子 石井　　仁 田中　　勝 杉浦　淳吉 小川　正光
A1-3	消費者市民の育成を目指す中学校家庭科の実践	北海道教育大学教育学部釧路校 北海道教育大学教育学部釧路校 北海道教育大学教育学部旭川校	○小野　恭子 鎌田　浩子 川邉　淳子
A1-4	家庭科における生活改善意識の向上に関する事例的研究	上越教育大学教職大学院	勝海　由里子

【午前 10:20～11:40】座長：増渕　哲子

A1-5	言語活動の充実に関する中学校家庭科の現状と課題－小集団学習による献立作成に注目して－	群馬大学教育学部 群馬県太田市公立中学校	○小林　陽子 松尾　優貴
A1-6	高校生のシティズンシップ意識について	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生）	米澤　千尋
A1-7	中学校家庭科の学習経験からみた高校家庭科における現状と課題	高等工科学校 東京学芸大学教育学部	○山崎　真澄 池﨑　喜美惠
A1-8	ドイツの日本人学校における児童・生徒の家庭生活の実態と家庭科観	東京学芸大学教育学部	池﨑　喜美惠

【6 月 29 日】第 2 会場（２階大教室）
【午前 9:00～10:20】座長：高橋　桂子

A2-1	「１食分の食事を調理し、整える」学習指導への課題－小学生，大学生を対象にした調査から－	岩手大学教育学部	渡瀬　典子
A2-2	東京都Ａ市中学校における食育活動の実態と課題－インタビューデータの KJ 法による分類から－	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部	○野田　聡子 大竹　美登利
A2-3	食まるファイブによる食育がもたらす児童の意識・行動の変化	愛知学泉大学家政学部 愛知学泉大学家政学部	○森山　三千江 本山　ひふみ
A2-4	中学生の主食選択 －家庭科教育への意識及び実践状況との関連に着目して－	東京学芸大学教育学部	藤田　智子

【午前 10:20～11:40】座長：渡瀬　典子

A2-5	中学校「技術・家庭」における栽培と調理実習の連携の現状－京都府の中学校教員への調査から－	京都教育大学大学院教育学研究科 京都教育大学教育学部 京都教育大学教育学部	○中須　晴南 湯川　夏子 中西　洋子
A2-6	スウェーデンの中学校家庭科における思考を促す食の授業－マリア・フェルド教諭の授業を事例として－	金沢大学学校教育系 福井大学教育地域科学部 大阪教育大学教育学部	○綿引　伴子 荒井　紀子 鈴木　真由子
A2-7	高等学校家庭科専門科目「フードデザイン」における学習意欲を高める単元構成に関する研究	広島県立総合技術高等学校 広島県立総合技術高等学校 広島県立佐伯高等学校 広島県立大学院教育学研究科	○長谷川真由美 小桝　由美 長谷中　久美 鈴木　明子
A2-8	食品に含まれる鉄分の可視化に関する授業実践	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○速水　多佳子 前田　英雄

【6 月 29 日】第 3 会場（２階　203 講義室）
【午前 9:00～10:20】座長：財津　庸子

A3-1	大学における金融経済教育－「ファイナンシャル・プランニング技能士」試験の導入と展開－	山梨大学大学院教育学研究科	神山　久美

A3-2	高等学校家庭科と大学入試センター試験問題	栃木県立宇都宮中央女子高等学校（非） 宇都宮大学教育学部 國學院大學栃木中学高等学校 栃木県立宇都宮白楊高等学校	○大原　弘子 赤塚　朋子 友田　　薫 萩原　葉子
A3-3	家庭科教育の充実に向けた学校家庭クラブ活動のあり方－学校家庭クラブ活動の現状と課題－	兵庫県立西脇高等学校 兵庫教育大学大学院	○藤原　容子 永田　智子
A3-4	男女共修をめぐる戦後の韓国と日本の教育課程改訂による高校家庭科の変遷	東京学芸大学連合学校教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部	○鄭　　暁静 大竹　美登利

【午前 10:20～11:20】座長：望月　一枝

A3-5	京都府立高等学校男女共修家庭科実践史研究２－府立研究会の指導資料について－	京都教育大学教育学部 京都教育大学大学院（院生）	井上　えり子 ○田中　任代
A3-6	社会参画教育に対する高校家庭科教員の意識構造	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	石島　恵美子
A3-7	男女共同参画社会をめざす意識改革のための家庭科授業開発－女子高等学校での取り組みから－	横浜国立大学教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育人間科学部	○千葉　眞智子 堀内　かおる

【6 月 29 日】第 4 会場（２階　202 講義室）
【午前 9:00～10:20】座長：鈴木　明子

A4-1	高校生の被服製作に関する基礎技能の実態	九州女子大学家政学部 近畿大学九州短期大学（非）	○山野　美咲 岡田　真衣 秋武　由子
A4-2	中学校の被服製作の振り返りとしてのナラティブと指示書の有効性	さいたま市立本太中学校 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○金子　京子 倉持　清美 阿部　睦子 妹尾　理子 望月　一枝
A4-3	海外でのゆかたの着装を含む授業実践とその効果	横浜国立大学 横浜国立大学 埼玉大学 山梨県立大学	○薩本　弥生 井野　真友美 川端　博子 斉藤　秀子

A4-4	まつり縫いの反復練習に対する意識と効果	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 杉並区立向陽中学校 東京学芸大学教育学部	○山本　夏帆 寶達　佑美 鳴海　多恵子

【午前 10:20～11:20】座長：薩本　弥生

A4-5	問題解決的な視点を重視した衣生活学習の成果	山形大学附属中学校 山形大学	○齋藤　弘子 髙木　　直
A4-6	小学校家庭科における製作活動の意義に関する研究－理科，図画工作科及び家庭科の製作活動の指導実態調査から－	広島大学大学院教育学研究科	鈴木　明子
A4-7	小中学校家庭科「洗う」の検討	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部	○潮田　ひとみ 赤松　純子 今村　律子 與倉　弘子 深沢　太香子 山田　由佳子

【6 月 30 日】第 1 会場（1 階大教室）

【午前 9:00～10:20】座長：佐々木　貴子

B1-1	男子進学校出身者の家庭科観 －KJ 法を用いた質的分析－	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部	○大矢　英世 大竹　美登利
B1-2	初等教育教員養成と中等教育教員養成における学生の家庭科の教科観と課題の違い	椙山女学園大学	室　　雅子
B1-3	小学校家庭科授業の実施・改善を支援する授業研究パッケージの開発	兵庫教育大学 和歌山大学 京都教育大学 大阪教育大学 奈良教育大学 滋賀大学 和歌山大学	○永田　智子 赤松　純子 榊原　典子 鈴木　真由子 鈴木　洋子 田中　宏子 山本　奈美
B1-4	家庭科教員養成における模擬授業実践による相互評価の活用－私立大学における事例をもとに－	大妻女子大学家政学部	永田　晴子

【午前 10:20～11:20】座長：松岡　英子

B1-5	「履修カルテ」の作成と学びの関係－学生調査にみる家庭科履修者の特徴－	東京家政大学短期大学部	青木　幸子
B1-6	学生の授業記録と授業構造図の作成に関わる能力に関する調査の一考察－「小学校家庭科教育法」での実践事例から－	北海道教育大学札幌校	佐々木　貴子
B1-7	家庭生活について理解を深める過程に位置づけた家庭科指導の方向性－学びの過程の実態をふまえて－	宮崎大学大学院教育学研究科	伊波　富久美

【6 月 30 日】第 2 会場（２階大教室）
【午前 9:00～10:00】座長：小川　裕子

B2-1	東日本大震災における被害の実態と児童・生徒の変容－福島県家庭科教員対象調査を踏まえて－	郡山女子大学家政学部	○佐藤　典子
		郡山女子大学家政学部	武井　玲子
		郡山女子大学家政学部	深谷　笑子
		郡山女子大学家政学部	難波　めぐみ
		郡山女子大学家政学部	遠藤　　恵
B2-2	東日本大震災に関する調査から家庭科教育への提案－家庭科「家族・家庭」の学習内容の検討－	郡山女子大学家政学部	○深谷　笑子
		郡山女子大学家政学部	武井　玲子
		郡山女子大学家政学部	難波　めぐみ
		郡山女子大学家政学部	佐藤　典子
		郡山女子大学家政学部	遠藤　　恵
B2-3	東日本大震災前後の家庭科教育の現状－「防災・減災」に関する教科書分析およびアンケート調査から－	郡山女子大学家政学部	○遠藤　　恵
		郡山女子大学家政学部	武井　玲子
		郡山女子大学家政学部	深谷　笑子
		郡山女子大学家政学部	難波　めぐみ
		郡山女子大学家政学部	佐藤　典子

【午前 10:00～11:20】座長：浅井　玲子

B2-4	東日本大震災を踏まえた防災袋づくりの提案－福島県家庭科教員対象調査を中心として－	郡山女子大学家政学部	○難波　めぐみ
		郡山女子大学家政学部	佐藤　典子
		郡山女子大学家政学部	武井　玲子
		郡山女子大学家政学部	深谷　笑子
		郡山女子大学家政学部	遠藤　　恵

B2-5	東日本大震災を踏まえたリスク管理の考え方の提案	郡山女子大学家政学部 郡山女子大学家政学部 郡山女子大学家政学部 郡山女子大学家政学部 郡山女子大学家政学部	○武井　玲子 深谷　笑子 佐藤　典子 難波　めぐみ 遠藤　　恵
B2-6	防災の視点を取り入れた中学校技術・家庭科（家庭分野）の教材開発	鹿児島大学大学院教育学研究科	黒光　貴峰
B2-7	地域防災マップづくりを通じて育む中学生の防災力	横浜市立東永谷中学校 横浜国立大学教育人間科学部	○萬谷恵三子 佐桑　あずさ

【6 月 30 日】第 3 会場（２階　203 講義室）
【午前 9:00～10:00】座長：吉本　敏子

B3-1	家庭科における「親世代性」を育む授業の検討－ニュージーランドの保育実践に着目して－	弘前大学教育学部	飯野　祐樹
B3-2	幼児とのふれあい体験と中学生の自尊感情の関連－ナラティブの記述分析から－	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部 さいたま市立本太中学校	○叶内　　茜 倉持　清美 金子　京子
B3-3	絵本教材による自分の成長と家族との関わりを省察する授業の分析－中学校技術・家庭科における実践から－	横浜国立大学教育人間科学部 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校 横浜国立大学教育人間科学部（学生） 横浜国立大学教育学研究科（院生）	○堀内　かおる 花岡　美紀 小笠原　由紀 太田　ひとみ

【午前 10:00～10:40】座長：川上　雅子

B3-4	教材「食育すごろくゲーム」実施一年後における児童の意識調査からの評価	松本大学地域健康支援ステーション 上越教育大学大学院学校教育研究科	○石澤　美代子 得丸　定子
B3-5	高校家庭科における食文化に関する授業実践－絵本を用いた配膳に関する学習とその効果－	お茶の水女子大学附属高等学校 お茶の水女子大学附属高等学校	○葭内　ありさ 石原　愛子

【6 月 30 日】第 4 会場（２階　202 講義室）
【午前 9:00～10:00】座長：矢野　由起

B4-1	家庭科の ESD のための現職教員向け教育プログラムの開発	千葉大学教育学部 千葉大学教育学部	○伊藤　葉子 中山　節子
B4-2	生徒の思考を深める授業構造と授業方略－問題解決のプロセスを重視した授業事例をもとに－	福井大学教育地域科学部 福井大学大学院教育学研究科（院生） 福井県立福井農林高等学校 福井県立福井農林高等学校	○荒井　紀子 吉田　奈保美 大嶋　佳子 塚倉　知美
B4-3	「体験し思考する」家庭基礎カリキュラムの作成	文教大学付属中学・高等学校 埼玉大学教育学部 埼玉大学教育学部 埼玉大学大学院教育学研究科	○椎谷　千秋 河村　美穂 長　　拓実 望月　遥

【午前 10:00～11:00】座長：榊原　典子

B4-4	西オーストラリア州の家庭科のカリキュラムと授業の分析	女子栄養大学栄養学部	井元　りえ
B4-5	格差社会における生活経営に対応したカリキュラム開発－千葉県高校家庭科における授業実践分析から－	愛媛大学教育学部 東京都大江戸高等学校 東京学芸大学 東京学芸大学（非） 千葉大学教育学部 白百合学園中学高等学校 東葉高等学校 大阪成蹊短期大学	○藤田　昌子 坪内　恭子 大竹　美登利 冨田　道子 中山　節子 中野　葉子 若月　温美 松岡　依里子
B4-6	２校の生徒の感想の比較からみた格差社会における生活経営に対応したカリキュラムの検討	東京学芸大学 白百合学園中学高等学校 愛媛大学教育学部 千葉大学教育学部 東京都立大江戸高等学校 東京学芸大学（非） 大阪成蹊短期大学 東葉高等学校	大竹　美登利 ○中野　葉子 藤田　昌子 中山　節子 坪内　恭子 冨田　道子 松岡　依里子 若月　温美

【ポスター発表】

掲示は6月29日（土）9：00　～　6月30日（日）11：50

プレゼンテーションは、奇数番号【6月29日（土）】11：40　～　12：10
偶数番号【6月30日（日）】11：20　～　11：50

【ポスター会場】（１階中教室）

P01	大学生の高齢者に対する意識調査－日中の違いについて－	北海道教育大学教育学研究科（院生） 北海道教育大学教育学研究科	○安　　妍 芝木　美沙子
P02	教員養成大学学生の家庭科教育に対する意識調査－北海道教育大学札幌校の学生の場合－	北海道教育大学札幌校 北海道教育大学札幌校	○早川　里美 佐々木　貴子
P03	韓国・家庭科における実践的推論プロセスにもとづく授業の導入－ユ・テミョン，イ・スヒ著『実践的問題を中心とする家庭科の授業－理論と実践』から－	鹿児島県立短期大学生活科学科 新潟大学教育学部	○倉元　綾子 髙橋　桂子
P04	「インクルーシブ家庭科」における実践的指導力向上のための現職教師研修の課題	広島大学大学院教育学研究科	伊藤圭子
P05	韓国・家庭科における実践的推論プロセスにもとづく授業展開の事例報告	新潟大学教育学部 鹿児島県立短期大学生活科学科	○高橋　桂子 倉元　綾子
P06	体系立てた消費者教育を目指す教材開発について－住生活教材－	大阪教育大学 武庫川女子大学 樟蔭東短期大学 岡山県立大学	○大本久美子 田中　洋子 吉井　美奈子 岸本(重信)妙子
P07	生活と森林をつなぐ家庭科「消費生活と環境」の授業－国産材・間伐材をキーワードに－	香川大学教育学部	妹尾　理子
P08	学習指導要領および教科書からみた小学校の環境教育に関する調査	東京福祉大学教育学部	榎本　ヒカル
P09	節電に着目した環境教育に関する教材の開発	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	福井　典代

P10	ESDを視点とした家庭科教育内容開発研究－衣生活学習における被服構成と実習の問い直しを中心として－	岡山大学教育学部（学生） 岡山大学教育学部（学生） 大阪市立新巽中学校 岡山県立倉敷鷲羽高等学校 岡山大学大学院教育学研究科	尾崎　史紗 松本　佳子 原田　省吾 平田　美智子 ○佐藤　　園
P11	小学校家庭科におけるシティズンシップ教育－地域のための除雪活動を通して－	北海道教育大学教育学部旭川校 鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校	○岡田　みゆき 土岐　圭佑
P12	これからの自分と家族に関する授業開発と実践－ワーク・ライフ・バランスとキャリア教育の視点を取り入れて－	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 鳥取市立末恒小学校	○黒川 衣代 小林　千華
P13	家庭科の授業実践を促す「家の仕事カード」の継続的取組	大分市立鴛野小学校	石川　芳恵
P14	家庭科におけるキャリア教育の可能性の検討－職場体験活動の現状と課題から－	山梨大学大学院教育学研究科	志村　結美
P15	大学生を対象とした生活設計教育における家計簿の活用および効果－大学生の家計簿記録と自己評価シートを手掛に－	弘前大学教育学部	李　　秀眞
P16	家庭科で道徳的価値をはぐくむ視聴覚教材の開発－あっくん　おおきくなぁれ－	東京学芸大学附属特別支援学校 北海道教育大学釧路校 東京学芸大学附属小金井中学校 東京学芸大学附属高等学校 東京学芸大学附属国際中等教育学校 東京学芸大学附属小金井小学校 東京学芸大学附属世田谷中学校 東京学芸大学附属竹早中学校 東京学芸大学附属大泉小学校 東京学芸大学教育学部	○池尻　加奈子 小野　恭子 佐藤　麻子 阿部　睦子 石津　みどり 藤田　和美 桑原　智美 酒井　やよい 三浦　　佳 大竹　美登利
P17	高等学校家庭科における洗浄力試験教材の実践２	千葉県立関宿高等学校 北海道教育大学	○亀原　めぐみ 森田　みゆき
P18	小学校５年生の被服製作用語の知識や技能は中学３年生までにどのように変容したか	弘前大学教育学部	日景　弥生

P19	小学校家庭科衣生活内容「洗う」の検討	和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部	○今村　律子 赤松　純子 潮田　ひとみ 與倉　弘子 深沢　太香子 山田　由佳子
P20	汚れた布の吸水性測定実験の提案	弘前大学教育学部 神戸女子短期大学 弘前大学教育学部	○安川　あけみ 古田　貴美子 日景　弥生
P21	衣生活デザインにおける自己表現－大学生の受講意欲向上を目指す取り組み－	名古屋文化短期大学	羽根　裕子
P22	食品の廃棄部分を利用した被服教材の検討－津軽地方の特産品「スチューベン」の果皮を活用して－	東北女子大学家政学部	葛西　美樹
P23	染色教材開発のための家庭科実習授業への高校生の意識の分析	北海道北見緑陵高等学校 北海道教育大学 北海道教育大学	○駒津　順子 小松　恵美子 森田　みゆき
P24	食品添加物を用いた玉ねぎ外皮染色布の媒染	北海道教育大学 北海道北見緑陵高等学校 北海道教育大学	○小松　恵美子 駒津　順子 森田　みゆき
P25	柔軟仕上げ剤に関する実験教材の開発とその有効性の検討	東京都新島村立式根島中学校 北海道教育大学旭川校	○中村　美奈子 川邊　淳子
P26	小学校家庭科「衣服の着方」を科学的に理解するための実験教材の開発－衣服の透湿性実験－	岡山大学大学院教育学研究科	篠原　陽子
P27	高校「家庭科」の授業における食育の実践	福岡県立東鷹高等学校 福岡県立稲築志耕館高等学校	○筒井　佐和子 林田　秩子
P28	家庭科授業中に行う包丁技能の指導の提案とその効果	埼玉大学教育学部	河村　美穂
P29	中学生における「３・１・２弁当箱法」の学習効果－２年後の食生活に関する意識調査を通して－	山形大学地域教育文化学部 山形大学地域教育文化学部 山形大学附属中学校	○髙木　　直 大森　　桂 齋藤　弘子
P30	小学校家庭科における問題解決能力－食品の買物を中心に－	信州大学	松岡　英子
P31	家庭科食生活領域に関する知識の定着度	山形大学地域教育文化学部 山形大学地域教育文化学部	○大森　　桂 髙木　　直

P32	小学校教員養成課程学生の食生活実態と食に関する教育観について－基礎的・基本的な知識及び技能習得に着目して－	安田女子大学 海田町立海田東小学校 広島大学附属小学校 広島大学大学院教育学研究科	○大下　市子 沖本　久恵 森下　友紀 鈴木　明子
P33	家庭科ふれ合い体験学習過程の可視化・共有化の試み－レッジョ・エミリア・アプローチを手がかりとして－	東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高等学校 さいたま市立本太中学校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○倉持　清美 阿部　睦子 金子　京子 妹尾　理子 望月　一枝
P34	小学校学習指導要領家庭と幼稚園教育要領・保育所保育指針の比較	北海道文教大学人間科学部	古郡　曜子

課題研究中間報告

6 月 29 日（土）　14:05～14:55　弘前大学教育学部棟　２階大教室

趣　旨：本学会では、2012 年度より、2 つのワーキンググループが、新たな「課題研究」に取り組んでいる。本中間報告では、これまでの研究の成果を報告し、今後の研究推進に向けた協議を行う場としたい。

ＷＧ１テーマ　自立する力を育てる家庭科授業用プログラムの開発
―自立する力の獲得を子どもの権利として捉える試み－

ＷＧ２テーマ　ＥＳＤとしての家庭科教育の可能性と役割

コーディネーター：　荒井　紀子　氏（福井大学教授）

講演・シンポジウム

6 月 29 日（土）15:00 ～ 17:15　弘前大学教育学部棟　２階大教室

テーマ：東日本大震災と家庭科教育―家庭科は復興にどのようにかかわるか―

趣旨：2011 年 3 月 11 日、東日本は激震に見舞われ、子どもを含む多くの生命が失われた。震災から 2 年以上を経過し、学校は、今、正念場を迎えようとしている。これまでストレスが重くのしかかっていても子どもは声も上げられなかったが、それが今“学校の荒れ” という形で表面化し始めているという。一方、家庭が機能している地域では、地域全体も連携が密で、そのなかで子どもは、自己の立ち位置を示そうとしているようである。本講演とシンポジウムでは、家庭科教育が復興にどのようにかかわれるか、あるいはかかわったらよいかを考えたい。

基調講演　人間復興（ルネサンス）の教育を模索し築いていくために

梅原利夫（うめはら・としお）氏　（和光大学副学長）

講師プロフィール

東京都新宿区生まれ。1972 年東京大学教育学部卒業、1979 年東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。専門はカリキュラム論、人間発達論。現在、和光大学副学長・現代人間学部教授。大学授業では「カリキュラム実践論」「いじめ・不登校の教育学」「人間復興の教育を求めて（ゼミ）」などを担当。日本教育方法学会常任理事、日本教育学会会員、日本カリキュラム学会会員、教育科学研究会常任委員など。

シンポジウム

シンポジスト　　徳水　博志　氏（宮城県石巻市立雄勝小学校教諭）
水上　弓枝　氏（岩手県立一関第一高等学校教諭）

コーディネーター　　長澤　由喜子　氏（岩手大学教授）

ラウンドテーブル

6 月 30 日（日）13:10～14:30　１階大教室、203 講義室、202 講義室

趣　旨：本ラウンドテーブルでは、３つの視点から実践を紹介し、子どもがより深く、より広く学べる家庭科授業とするために、実践に織り込まれている考え方や工夫点について協議する場としたい。

全体テーマ：子どもの学びが深まる広がる家庭科の授業づくり

ＲＴ１：食生活を豊かにする学び（１階大教室）

話題提供者　佐々木　孝子　氏（青森県立板柳高等学校教諭）
芳川　　りえ　氏（埼玉県鴻巣市立鴻巣南小学校教諭）

コーディネーター　　河村　美穂　氏（埼玉大学教授）

ＲＴ２：問いをもち探究する学び（203 講義室）

話題提供者　齋藤　弘子　氏（山形大学附属中学校教諭）
若月　温美　氏（東葉高等学校教諭，千葉大院生）

コーディネーター　　岡　　陽子　氏（佐賀県立牛津高等学校校長）

ＲＴ３：震災の経験をつなぐ学び（202 講義室）

話題提供者　小河　　誠子　氏（福島県伊達市立伊達中学校教諭）
石津　みどり　氏（東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭）

コーディネーター　　佐々木　貴子　氏（北海道教育大学教授）

懇親会のご案内

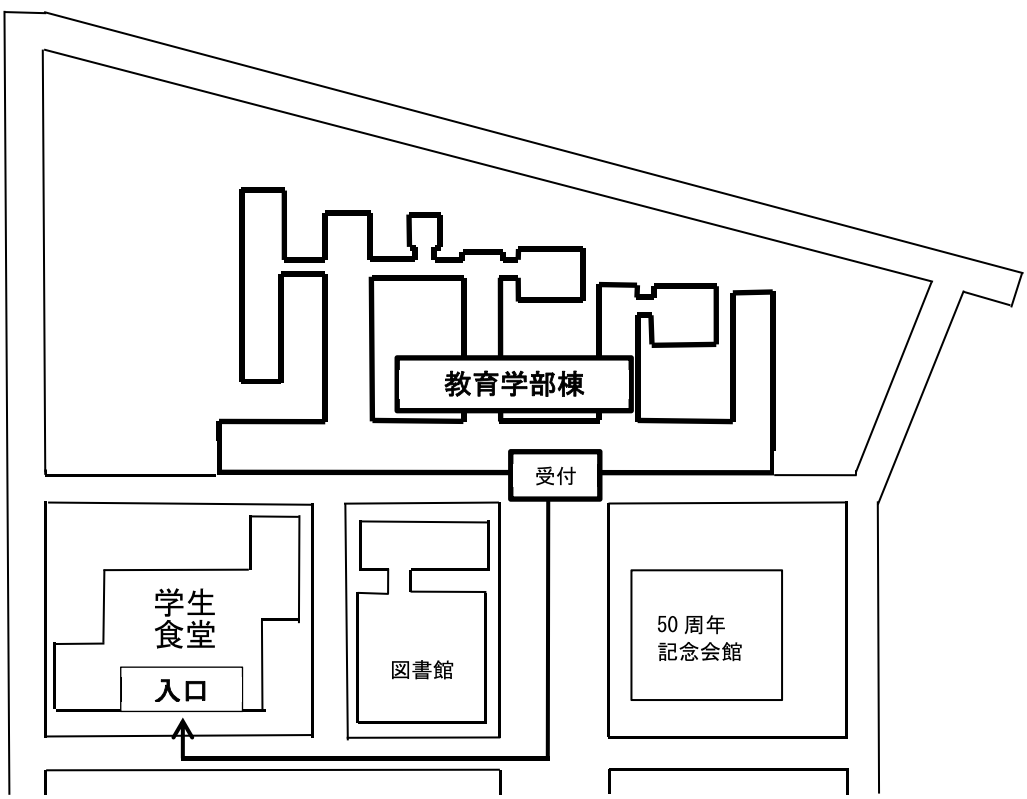
日　時　　：６月２９日（土）　17：30 - 19：30

会　場　　：学生食堂２階（レストラン・スコーラム）

会　費　　：3, 500 円

弘前の美味しい食材と郷土料理をお楽しみ下さい

懇親会場への移動



お知らせ

● 大会参加費　　正会員　　5,000 円（当日は 6,000 円）
学生会員　　3,000 円（当日は 3,500 円）
非会員　　6,000 円
学生非会員　3,500 円
非会員の１日参加費　　2,500 円(要旨集別売り　1,000 円)
＊「講演・シンポジウム」のみの参加は無料です。

●昼食について

学会による弁当の手配はありません。各自で昼食をご準備下さい。
学生食堂は、6 月 29 日(土) 11 時 00 分～14 時 30 分のみ営業しています。
学内にあるコンビニ（サリジェ）の営業は、p.18 を参照してください。

●託児室について

大会期間中、ご希望の方は託児室の利用が可能です。専門のスタッフがおります。
開設期間：6 月 29 日(土) 8 時 30 分～17 時 30 分　　6 月 30 日(日)8 時 30 分～16 時
お預かりできるお子様の年齢：生後 3 か月～小学校 6 年生
利用料金：1 時間 200 円
別途、一日あたり 100 円程度の保険に加入していただきます。
ご希望の方は6 月 3 日（月）までに下記の事項を記したメールを、件名欄に「託児室利用申込」と明記の上、学会事務局 (kateika@amethyst.broba.cc) までお送りください。

記載事項は、以下のとおりです。

１．利用者(保護者）氏名、住所、所属(ある場合)、学会中に連絡の取れる携帯電話番号等
２．お子様の氏名、性別、年齢
３．託児室利用予定日時
４．おやつや粉ミルク、湯等の持ち込みの有無（長時間になる場合は、是非、お持ちください)
５．特別な配慮が必要な場合は、そちらもお書きください。

●宿泊等について

早めにスケジュールにあわせて、各々で確保していただきますようお願い致します。

研究発表をされる方への連絡事項

【口頭発表】

１．口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。

２．パワーポイントをご使用になられる方へ

①各発表会場に用意するパソコンソフトは、 Windows 版 PowerPoint2007 です。

②ファイル名は次のようにして下さい。

半角文字で発表番号、 全角で発表者名の順（例：A1-1 安川）

③ファイルは、ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき、以下のように、各自でパソコンにコピーしてください。

１日目発表：６月２９日(土)　８：３０～　９：００（各発表会場において）

２日目発表：６月３０日(日)　８：３０～　９：００（各発表会場において）

④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。

⑤パソコンにコピーしたファイルは、大会終了日に消去します。

３．配付資料は、 発表番号と氏名を明記し、必ず 100 部用意して、当日早めに各発表会場前の廊下の資料置き場にご提出ください。

４．パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を 100 部ご用意ください。

５．口頭発表の時間は１５分、質疑応答の時間は５分です。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、 是非ご協力をお願いいたします。

６．口頭発表開始１３分後に １ 鈴、１５分後に第２鈴、２０分後に第３鈴をもって終了の合図とします。

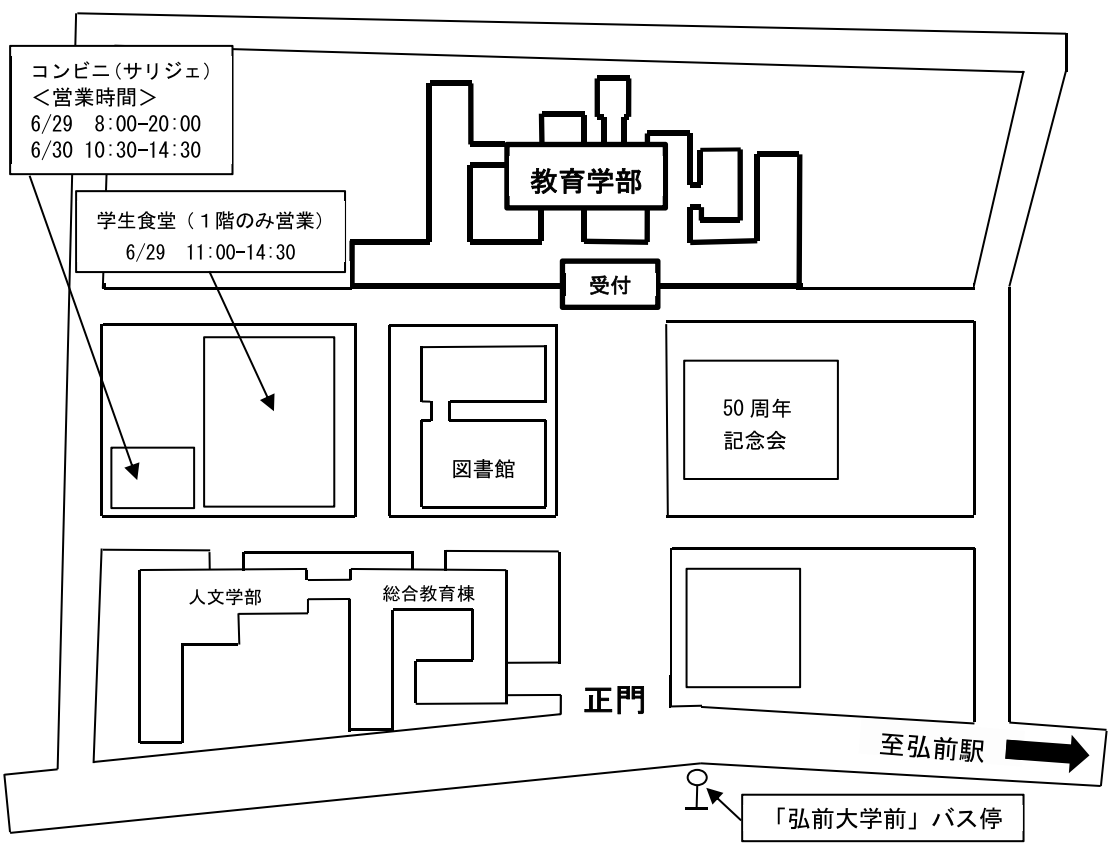
７．発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へご連絡ください。大会当日は、会場では電話受付できませんので、大会に参加する方に連絡をとるなどして、大会実行委員会事務局にお知らせいただくようにお願いします。発表中止があった場合でも、その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

【ポスター発表】

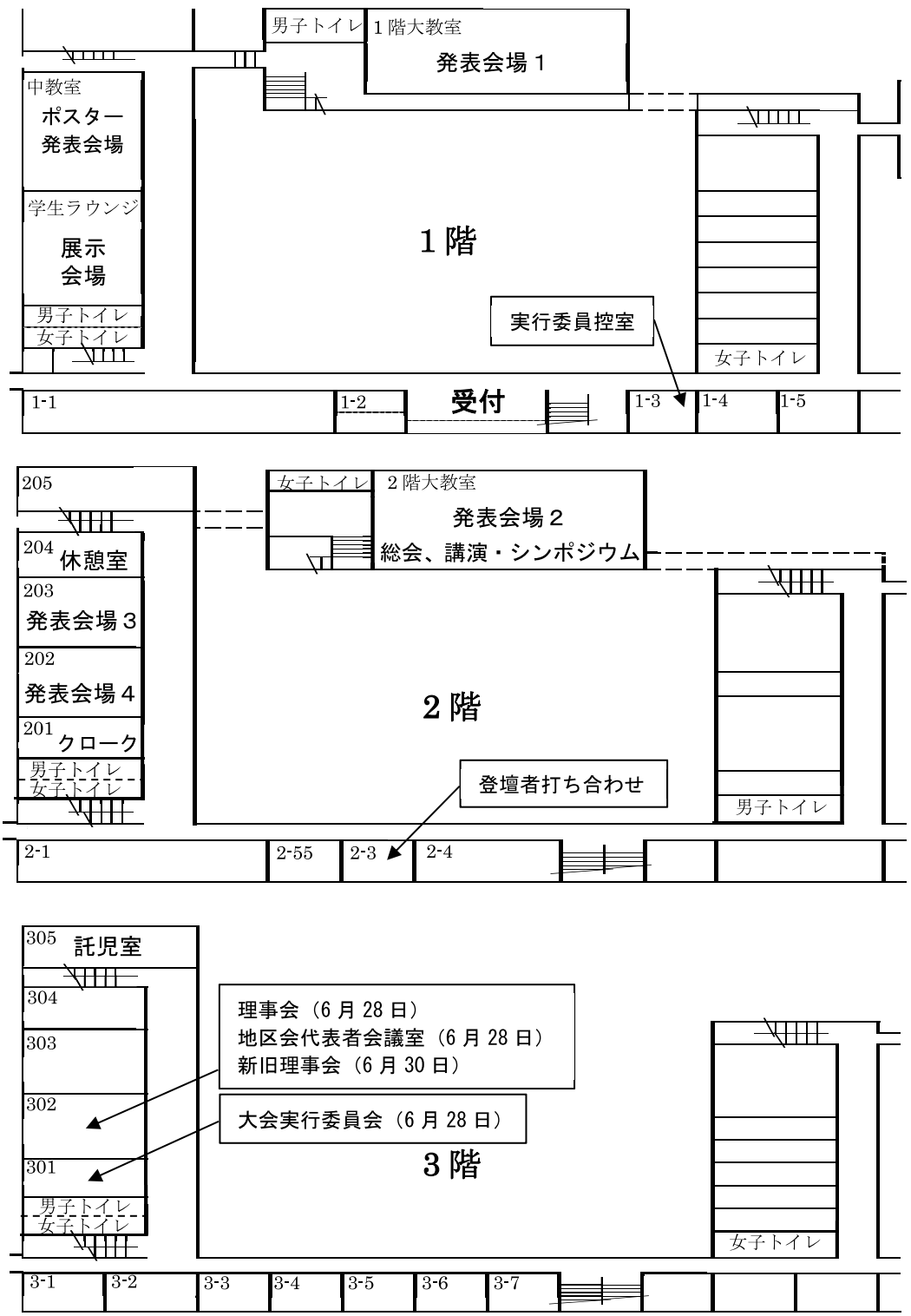
１．ポスターは、１発表につき、ヨコ１２０cm×タテ１８０cm まで掲示可能です。
２．指定されたポスター発表番号場所に、発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など、自由にレイアウトしてください。
３．ポスターの掲示期間は、６月２９日(土)９：００～６月３０日(日)１１：５０です。
掲示は、６月２９日(土)９：００までに行ってください。
４．発表者は、ポスター掲示期間中、ポスター会場でお渡しするリボンを付けていただき、ポスタープレゼンテーション時間帯には必ずポスター傍に待機してください。
奇数番号プレゼンテーションは、６月２９日(土)１１：４０～１２：１０
偶数番号プレゼンテーションは、６月３０日(日)１１：２０～１１：５０
５．ポスターは、セロハンテープで貼付してください。実行委員会で掲示場所に準備します。
６．ポスターの撤収は、６月３０日(日)１１：５０以後すみやかに、各自で行ってください。

弘前大学文京町キャンパスマップ
大会会場：教育学部棟

課題研究中間発表（6 月 29 日） 総会　　（6 月 29 日） 講演・シンポジウム（6 月 29 日） ラウンドテーブル（6 月 30 日）	2 階大教室 2 階大教室 2 階大教室 1 階大教室、203、202
受付 口頭発表 ポスター発表 書籍展示・頒布 休憩室 託児室	玄関ホール 1 階大教室、2 階大教室、203、202 中教室（1 階） 学生ラウンジ（1 階） 201（クローク）、204 305
理事会（6 月 28 日） 大会実行委員会 地区会代表者会議 大会実行委員控室 新旧理事会（6 月 30 日）	302 301 302 1 - 3 302

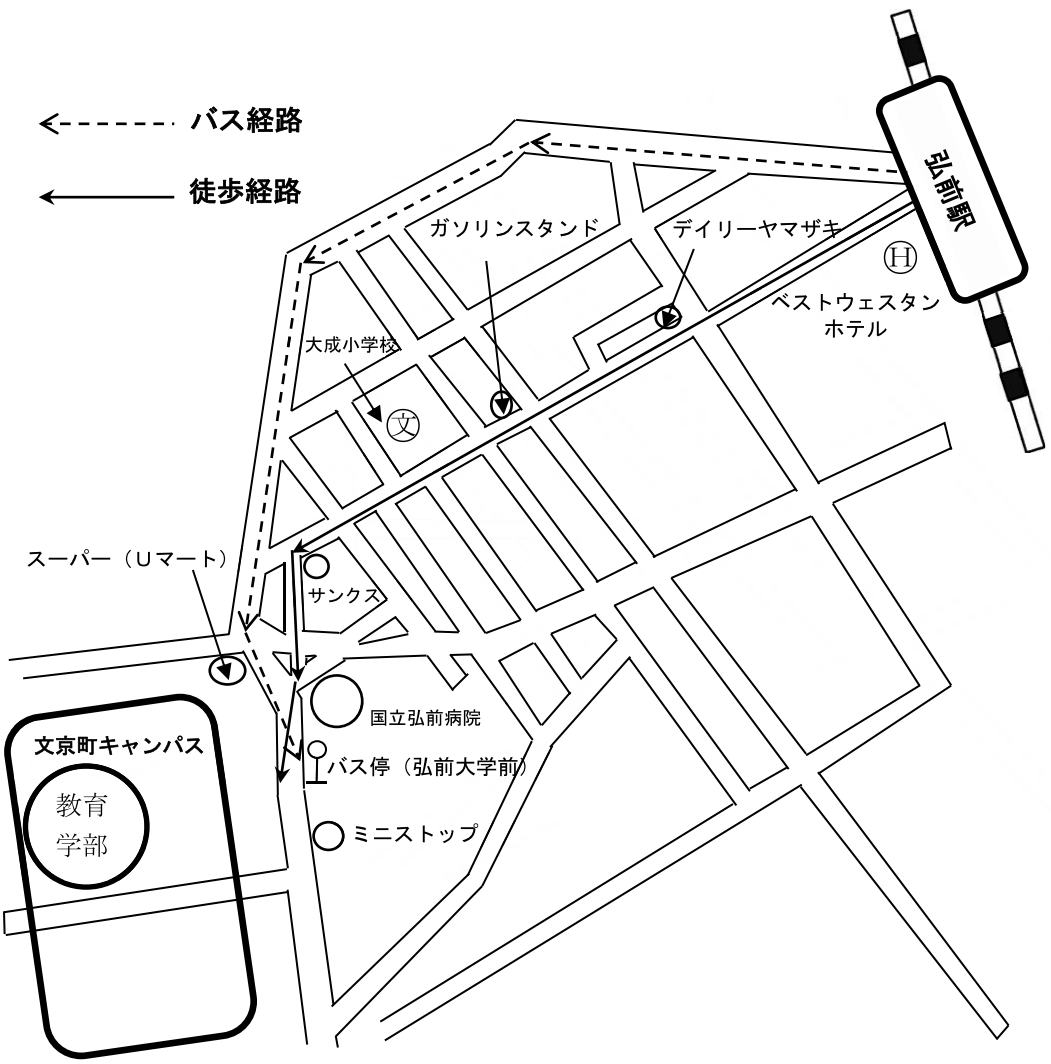


会場配置図（教育学部棟）


男子トイレ
1階大教室
発表会場１
中教室
ポスター
発表会場
学生ラウンジ
展示
会場
男子トイレ
女子トイレ
1階
実行委員控室
女子トイレ
1-1
1-2
受付
1-3
1-4
1-5
205
女子トイレ
2階大教室
発表会場２
総会、講演・シンポジウム
204 休憩室
203
発表会場３
202
発表会場４
201 クローク
男子トイレ
女子トイレ
2階
登壇者打ち合わせ
男子トイレ
2-1
2-55
2-3
2-4
305 託児室
304
303
302
301
男子トイレ
女子トイレ
理事会（6 月 28 日）
地区会代表者会議室（6 月 28 日）
新旧理事会（6 月 30 日）
大会実行委員会（6 月 28 日）
3階
女子トイレ
3-1
3-2
3-3
3-4
3-5
3-6
3-7

●大会会場へのアクセス(URL：http://www.hirosaki-u.ac.jp/)

① 青森空港から JR 弘前駅
空港リムジンバス（空港発着便と接続）の場合
JR 弘前駅前 約 1 時間（1,000 円）
時刻表は http://konanbus.com/をご覧下さい

② JR 新青森駅から弘前駅
JR 奥羽本線に乗り換え約 40 分

③ JR 弘前駅から弘前大学（cf.下図）
徒歩の場合 約 20 分
バスの場合 約 15 分
弘前駅前【３番のりば】から「小栗山・狼森線」又は「学園町線」に乗車し、【弘前大学前】下車
タクシーの場合
約 5 分（「教育学部正面玄関」降車）